

グローバルマナーとおもてなしの心

講師派遣

A001-03A

筑波大学オリンピック教育プラットフォーム

「4×4の取組」
との対応(参考)オリンピック・
パラリンピックの精神

スポーツ

文化

環境

×

学ぶ

観る

する

支える

期待できる
教育効果(参考)
(育成される資質)

ボランティアマインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人としての自覚と誇り

豊かな国際感覚

オリンピック・
パラリンピックの
価値との対応(参考)

卓越

友情

敬意/尊重

勇気

決断力

平等

鼓舞



◆標準的な授業の流れ

- ① 日本の文化「おもてなしの心」とは何か
- ② オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの
必要性和実態、2020年のボランティアとして望まれること
- ③ おもてなしの心を表すときに大切な「好感度を高める5原則」
(表情・態度・身だしなみ・言葉遣い・挨拶)はどのようなものか
- ④ 「おもてなしの心」の表し方は一律ではなく、相手によって変わる
ものであること
- ⑤ 言葉がけの大切さとコミュニケーション能力を高める方法
- ⑥ グローバルマナーとしての挨拶、握手
(ロールプレイをする時間、質疑応答などは講演時間によります。)

◆プログラムの概要

2020年を迎えるホスト国日本の国民として、どのようなおもてなしの心をもつべきでしょうか。それを表すために「表情・態度・身だしなみ・言葉遣い・挨拶」の5つが大切であることを、具体的な例をあげながら学びます。また、海外の方々をお迎えするにあたってのグローバルなマナーとはどのようなものかをロールプレイなどを交えながら体得します。

◆プログラムのねらい

1. グローバルマナーとおもてなしの心を学ぶことで、自己を確立しつつ、他者を受容して、臆せずに積極的に海外からのお客様をお迎えする術を体得します。
2. 礼節を重んじ、助け合って生活する国民性である日本の子供たちに、異文化を尊重しながら他者を思いやる心とボランティアマインドを醸成することの大切さを伝えます。

所要時間 小学校低学年までは1コマ、それ以上は2コマを基本とする ※小学校低学年の場合でも、60分を確保いただくことをお勧めします。

対応可能人数 学級/学年/全校いずれでも可

対応可能エリア 23区内 多摩地域 島しょ部

想定講師について 江上いずみ(筑波大学客員教授)
筑波大学にて「おもてなし学」を講義。
全国で「おもてなしの心」をテーマに講演中。

学校側で準備が必要な設備・機材 プロジェクター、スクリーン、PC(パワーポイント)
※人数が多い場合はマイク等の音響設備

経費
■謝金:要(1講演あたり、60分までの場合30,000円、90分の場合は45,000円。低学年、高学年に分けるなど1校当たり1日4講演まで可能)
■交通費:要(一律2,000円)※島しょ部別途

◆参考資料・URL 2014年度より都内小・中・高等学校・特別支援学校など年間100校以上で「おもてなし講座」を実施
過去の実績はこちらを御参照ください:<http://www.globalmanner.jp/index.html>

◆実施の様子(写真など)について、団体の広報等で使用する場合があります。あらかじめ御了承ください。